



広島空港エコエアポート協議会 2022年度報告書

2023年9月

広島国際空港株式会社

広島空港環境計画の目標に対する達成状況(2022年度)

- 2023年2月に広島国際空港株式会社が広島空港エコエアポート協議会の事務局を大阪航空局広島空港事務所から引き継ぎ、第2次広島空港環境計画(2013年度～2023年度)に基づいて、CO2排出量の削減、水使用量の削減、廃棄物のリサイクル率向上等に取り組んでいます。
- 各環境要素における2022年度の達成状況は以下の通りとなっており、今後も関係各所と連携しながら目標達成に向けて取り組んでまいります。

環境要素	広島空港環境計画 最終年度目標(2023年度)	2022年度の達成状況
大気・エネルギー	空港からのCO2総排出量を基準年度※(10,279t-CO2/年)より5%削減	4,997t-CO2/年となり、約51%削減
水・土壌	- 空港における上水総使用量を基準年度(57,343m³)より5%削減 - 水質及び土壌への影響を低減	39,813m³となり、約31%削減 - 水質調査において、これまで一部項目で高い数値が検出されていたが、2023年度実施の調査結果では環境基準に適合
廃棄物	一般廃棄物のリサイクル率を30%まで向上	一般廃棄物のリサイクル率22.85%

※基準年度:2013年度

広島空港の年度別環境データ①

項目	単位	2013年度 (基準年度)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
CO2排出量	kg-CO2	10,278,505	6,863,078	7,533,080	5,595,885	4,782,169	4,997,230
(1人あたりのCO2排出量)	kg-CO2	3.89	2.29	2.51	7.59	4.86	2.44
電力	kWh	13,242,715	10,011,162	10,945,797	9,046,573	8,472,174	8,473,570
ガス	m³	37,457	37,829	36,924	19,556	23,249	25,053
自動車	台	102	61	108	108	101	99
(内、エコカー)	台	0	0	3	4	4	4
上水使用料	m³	57,343	56,570	56,924	30,921	31,072	39,813
廃棄物	Kg	452,512	493,897	499,464	200,294	226,808	328,709
(内、リサイクル率)	%	23.61	24.61	26.32	19.49	18.29	22.85

【参考】

旅客数(国内/国際)	千人	2,641	3,003	3,000	737	984	2,048
貨物取扱量	千t	22	18	18	6	6	7

広島空港の年度別環境データ②

項目	測定項目	2013年度 (基準年度)		2018年度		2022年度		2023年度		環境基準 (A類型) ※
		1号沈砂地	7号沈砂地	1号沈砂地	7号沈砂地	1号沈砂地	7号沈砂地	1号沈砂池	7号沈砂池	
水質調査	水素イオン濃度 (pH)	7.4	7.3	7.6	7.4	7.5	7.3	6.9	7.6	6.5～8.5
	生物化学的酸素 要求量(BOD)	1.1	24	1	15	2.7	490	1.1	1.8	2mg/L以下
	浮遊物質質量(SS)	3	4	検出されず	検出されず	検出されず	6	検出されず	2	25mg/L以下
	溶存酸素(DO)	9.4	8	9.4	7.1	9.2	4.8	9.8	7.9	7.5mg/L以上



※環境基準(A類型)：

環境基準とは、環境庁が環境基本法に基づき人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準として、大気、水、土壌、騒音をどの程度に保つことを目標として定めたものです。

今回の調査対象である沈砂池は、流入先が環境基準A類型に指定された沼田川であるため、本件調査においても同様の環境基準を用いて調査を行ったものです。

(参考) 広島空港環境計画目標達成に向けた具体的な施策

環境要素	目標達成に向けた具体的な施策
大気・エネルギー	① GPUの使用促進を図る ② GSE車両及びその他車両のエコカー化(電動化を含む)を図る ③ アイドリングストップ運動を組織的に推進する ④ 各施設の照明や冷暖房設備の省エネ化を推進する ⑤ 不要時の消灯、空調機設定温度の抑制などの省エネ化を推進する ⑥ 照明設備のスイッチゾーニング、タイムスケジュール、自動点滅、人感知センサーシステムの導入を促進する ⑦ 機器の劣化、空調設備などの運転などを定期的に診断し、適切な時期における高効率空調機器の採用や高効率運動を促進する ⑧ 再生可能エネルギーの導入について検討する
水・土壌	① 各事業者の上水使用量を統計的に把握するとともに情報共有する ② 自動手洗水栓等の節水設備について、更新状況を考慮しながら設置する ③ 雨水の利用を促進する ④ パネル、掲示板等による節水への呼びかけを進める ⑤ 融雪剤及び防氷剤の使用量の低減を図る ⑥ 沈砂池等における雨水排水の水質を定期的に測定し、影響を確認する
廃棄物	① 各事業者の一般廃棄物発生量を統計的に把握するとともに情報共有する ② 裏紙使用等によるコピー用紙の削減を徹底する ③ 一般廃棄物の可燃ごみの処分量を削減する ④ 事務用品、事務機器等の再生利用を促進する ⑤ グリーン購入、再生用品の積極利用を促進する ⑥ ごみ減量化の呼びかけを空港利用者も含めて実施する